

2023年度カリキュラムマップ
(建築・建設工学専攻 博士後期課程)

◎ : DPと最も関連がある科目 (一つのみ)
● : DPと関連がある科目

NO	科目区分	科目ナンバー	授業科目の名称	配当年次	前・後期の別	単位数			知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
						必修	選択	自由	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
			研究科目										
1		7007	建築計画特別講義	1	後期	2				●	●	◎	
2		7008	建築意匠特別講義	1	前期	2		◎	●	●			
3		7009	建築史特別講義	1	前期	2		●	●	◎			
4		7010	構造デザイン特別講義	1	後期	2						◎	
5		7011	インテリアデザイン特別講義	1	半期(集中)	2		●	●			◎	
6		7012	鋼構造学特別講義	1	前期	2		◎			●	●	
7		7013	地震工学特別講義	1	前期	2		●	◎	●			
8		7014	地盤工学特別講義	1	後期	2			●	●		◎	
9		7015	防災工学特別講義	1	前期	2		●	◎	●	●	●	
10		7016	建築設備学特別講義	1	前期	2		●			●	◎	
			論文指導科目										
11		7001	建築・建設工学特別研究 1	1	前期	2		●	◎				
12		7002	建築・建設工学特別研究 2	1	後期	2		●	◎				
13		7003	建築・建設工学特別研究 3	2	前期	2		◎	●				
14		7004	建築・建設工学特別研究 4	2	後期	2		◎	●				
15		7005	建築・建設工学特別研究 5	3	前期	2		●	●	◎			
16		7006	建築・建設工学特別研究 6	3	後期	2		●	●	◎			
			計			12	20	0					

建築・建設工学専攻 博士後期課程 カリキュラムツリー

学年	期	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
		DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
		研究結果を正しく解釈し、その成果を学会等において説明することができる。	高度な専門知識に基づく社会性のある新規的で独創的な研究計画を立案でき、その遂行能力を有している。	建築、建設分野において社会性を有する観点から新規的で独創的な研究遂行ができ、その成果を国内外の学会等において広く公表し、また、多様な情報を積極的に収集し、自らの研究をより高めていくことができる。	建築、建設技術の社会における役割、責任を理解し、技術的問題に対して技術者、研究者は社会的な説明責任を負っていることを踏まえて、技術開発、研究に従事することができる。	実務に対応できる幅広い知見と理解力および技術開発能力を有している。
3	後			建築・建設工学特別研究 6		
	前			建築・建設工学特別研究 5		
2	後	建築・建設工学特別研究 4				
	前	建築・建設工学特別研究 3				
1or2	後	建築意匠特別講義 鋼構造学特別講義	地震工学特別講義 防災工学特別講義	建築史特別講義		建築計画特別講義 構造デザイン特別講義 インテリアデザイン特別講義 地盤工学特別講義 建築設備学特別講義
	前					
1	後		建築・建設工学特別研究 2			
	前		建築・建設工学特別研究 1			